

平成22年度
卒業式

“トシコー”生活を終えて、巣立ちのとき。 Graduation Ceremony

春先とはいえ、やや肌寒さが残る3月1日、第58期高校卒業式が行われました。
258名の生徒たちが3年間および6年間慣れ親しんだ学び舎を巣立っていきました。



吹奏楽部の演奏で卒業生が入場。担任の呼名に卒業生たちが元氣よく返事した後に、理事長賞・優良賞・皆勤賞・都知事賞など各賞が授与されました。校長先生からは「人生は自分が主役。自分で考え、自分で拓き、自分に責任をもつこと」との式辞がありました。「人材雲と集い来て 個性を磨く師父の恩 燕ねぐら慕うとき 若き男の子に涙あり」という校歌の五番は卒業式を歌ったものです。卒業おめでとう!



五十嵐校長から卒業証書を手渡される卒業生の毅然とした姿には、6年間の確かな成長が感じられます。

答 辞

世界的に、異常気象と呼ばれるような天候が観測されたり、ニュージーランドの地震といった大災害が報じられています。私たちがこれから出て行くところの世の中には、たいへん厳しい現実があると感じられます。しかし、(略)いまの私たちにとっては、挑戦する価値がある課題だと前向きにとらえることができます。

(略)

私たちは勉学、部活動、委員会など、それぞれが自分のやるべきことを見据えて、精一杯努力してきました。立派な施設にも恵まれ、さまざまな経験ができました。部活動では、先輩方の代りさらに良い成果を残すべく努力しました。新型インフルエンザなどの問題で開催が危ぶまれた一昨年の柏苑祭でも、一致団結して対策を立て、お客様を迎えることができました。

ただ私たちの活動の成果は、自分自身では、正しく評価することはできません。(略)先輩方から受け継いだものを、後輩の皆さんに着実に橋渡ししてきたと思っていただけにとしたら、これほど嬉しいことはありません。

私たちは本日をもってこの学び舎を巣立ちます。(略)ここまで成長するまで、温かく見守ってくださったすべての皆様に感謝したいと思っています。本当にありがとうございました。これから待ち受けるあらゆる困難に対して、これまで以上に自信と勇気を持って乗り越えていくことを約束し、答辞とさせていただきます。

第58期 卒業生代表
脇田 諭



「これから待ち受けるあらゆる困難に対して、自信と勇気を持って乗り越えていくことを約束します。」答辞を読む前生徒会長・脇田諭君。

トシコーでの
6年間の軌跡



多摩川徒歩ラリー(中1)

体験旅行(中2)



体育祭(高1)



研修旅行(高2)



柏苑祭(中3)



難関大ガイダンス(高3)



information イベントスケジュール

オープンスクール(要予約)

2007年に竣工した最新設備の校舎で、トシコーの先生や先輩と一緒に楽しい授業を体験しよう!

同時開催: 第1回学校説明会(予約不要)

6月26日(日)

会 場 / 東京都市大学付属中学校・高等学校
対 象 / 男子児童(小学4~6年生)および保護者
内 容 / 体験プログラム(定員・予約制)
時 間 / 9:00受付開始~13:00見学終了
申込み方法 / 本校ホームページで5月16日頃掲載します。



2010年オープンスクール 上:缶でんくん 右:ハンカチを染めよう



present
一番星カレンダーを
手に入れよう!
学校案内 DVD 付



present
保護者の方には
データ集「T-File」

イブニング説明会(要予約)

7月22日(金)

★随時学校ご案内も可能です★(要電話予約)

STAR★T LINE Vol.3

contents
Vol.3の主な内容

- ◆平成23年度入試レポート
- ◆中学弁論大会
- ◆キャリア・スタディ発表会
- ◆平成22年度卒業式

information
オープンスクールのお知らせ

編集: 生徒会新聞委員会

平成23年度
入試レポート

受験生たちがスタートラインに立った日。

2月1日、2日、4日、6日の4日間、中学入試が行われました。
好天に恵まれ1,873名の受験生が4教科に日頃の努力の成果を発揮しました。



上:いよいよ試験本番がスタート。落ち着いて問題をよく読んで答えをだそう!
右:試験前の集中のひと時。机の上に必要なものを揃え、準備万端。



data box / 人数・競争倍率等				
	第1回	第2回	第3回	第4回
入試日	2月1日	2月2日	2月4日	2月6日
定員	90	70	40	40
応募者数	914	718	904	1156
受験者数	771	359	346	397
合格者数	388	112	62	65
実質競争倍率	2.0	3.2	5.6	6.1

※第1回合格者には、東京都市大学付属小学校推薦17名を含みます。

Entrance Exam

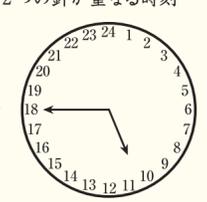
キミも入試問題にトライしてみよう!

※解答はホームページをご覧ください。

【算数】

下の図のような特殊な時計があり、長針は1時間で1周し、短針は1日で1周します。下の図は午前10時45分の時刻を表しています。あとの問いに答えなさい。

- (1) 13時12分の時刻のとき、2つの針がつくる小さいほうの角度は何度ですか。
- (2) この時計の8時台で、2つの針が重なる時刻は8時何分ですか。
- (3) この時計の1時台で、2つの針のつくる角度が180度になる時刻は1時何分ですか。



【国語】

次の説明にあてはまる漢字を答えなさい。

- ① 天までが開いているところから月がさし込むことを表している。「はつきりしている」ことや「かしこい」などの意味を表す漢字。
- ② 人が両手両足を広げて立って立っていることを示す。「一」を加えたもの。「二人前の男」を意味する漢字。
- ③ 筋肉を盛り上げたうでをかたどった部首に、かさなる意味の「子」を加えて、「うづつ」。「はたらく」などの意味を表す漢字。
- ④ 人が二人くっついてならんでいることを示したもので、そこから一般的に二つのものを並べて優劣や相違などをみる意味で用いられる漢字。

保護者のよろこびの声を紹介します!

都市大付属中に進学することに決まり、息子は大変喜んでおります。勉強もクラブも頑張っていて、貴重な6年間を過ごして欲しいと思います。入学式が楽しみです。

勉強も行事もクラブも、色々なことに頑張れる学校だと思っています。常に新しいことへ取り組み姿勢に期待し、子供達が明るく活きた学校であってほしいです。

学園祭や過去問チャレンジに参加させていただいて、息子がどうしても通いたいと希望し受験させていただきました。楽しく有意義な6年間を過ごしてもらいたいです。

1年間の集大成 中1・2

自分の考えを壇上で発表。白熱の弁論大会!

中1・中2全員参加の予選から選ばれた12人の弁士たちが個性豊かな演説を披露し、熱いメッセージを伝えました。

Speech Contest



ステージに立って自分のメッセージを語ることで、自己表現力を鍛える弁論大会。2月16日(水)に行なわれた大会では、中学校1・2年生の各クラスの代表者12人がステージに立ち、堂々と演説をしました。審査員は弁士以外の中学校1・2年生全員です。緊張感に負けずに自分の主張を発表した弁士たちに、惜しみない拍手が送られました。



上:一人ひとりが皆、審査員。それぞれの役割を果たす大切さを知りました。左:中1の学年優秀賞の安藤君。声が大きく、フレッシュな印象のスピーチでした。

入賞者インタビュー

- ①なぜこのテーマにしたのか。
- ②どこに気をつけてスピーチしたか。
- ③あなたが訴えたいことはなにか。

校長賞(最優秀賞)

「北朝鮮を豊かな国にするには」
2D 宮本 祐希

- ①去年の11月に韓国に北朝鮮が砲撃した時に、北朝鮮に興味を持ち、その国民生活にも興味からあったため。
- ②できるだけスピーチの内容を覚え、前を見て話すこと。自分が特に言いたい事は大きくはっきりした声で話そうと思った。
- ③北朝鮮の今の政治と国民の現状から、僕が思った「北朝鮮を豊かにする方法」を特に聞いてもらいた。

学年優秀賞(中2)

「SNSの課題」
2E 臺 剛一

- ①現在「ソーシャルネットワーク」というfacebookの創設までが描かれた映画が公開されており、SNSに興味を持ったから。
- ②人の目を見て話すこと。
- ③SNSの長所と短所から浮かび上がる、SNSの課題。

学年優秀賞(中1)

「自分の好きなものを見つけよう」
1E 安藤 優汰

- ①みんな好きなことについて、あまり考えていないように見えたから。
- ②自分の言いたいことは声を大きく、顔を上げて言う。
- ③みんなも一度、好きなことについて考えて欲しいということ。

代表弁士へのミニインタビュー

「尖閣諸島問題について」

1A 宮本直浩
中国と日本について詳しく知りたかったので、このテーマを選んだ。中国との領土問題を早期解決すべきだと思う。

「裁判に行こう」

1B 石橋 拓
裁判を傍聴したことをきっかけに、本物の裁判を見た方が、自分のためになるということを訴えようと思った。

「“オタク”とは」

1C 堀 雅博
自分がオタク文化に関心を持っているということを伝え、オタク文化をあまり悪く思わないでほしいと言いたかった。

「本当の遊び場とは」

1D 榎本徹也
子どもが思いっきり体を動かして遊びたいと思えるような場所が必要だ。その思いと必要性を理解してほしい。

「中国との付き合い方とは」

1F 森 匠太郎
以前からかなり気になっていたことが指定テーマになった。みんなが協力すれば日中関係は回復すると思う。



中2の学年優秀賞の臺君。注目のメディアを扱った内容は大人も考えさせられるものでした。



受賞記念トフィー(上)を手にする中2宮本君。テーマの内容、学生らしい考察、校長賞にふさわしい説得力のあるスピーチでした。

「クローン技術の必要性」

2A 松本紘聡
映画をきっかけに、クローンによって生じる問題はとても大きな事で、その問題の重大さを訴えたいと思った。

「18歳成年制について」

2B 直田祐輝
今年、国民投票法が施行されたことで、権利があるという事は責任が伴うということあらためて考えた。

「日本の産業を復活させるには」

2C 田保橋 玲
これからも日本の産業には頑張りたい。また、聞いた後一人ひとりに産業について考えて欲しいと思う。

「旅行を通じて感じたこと」

2F 久保拓人
ニュージーランドの印象が強かったのでこのテーマにした。本番で噛まないように何回も繰り返し練習した。



1年間の集大成 中3

1年間の学習の集大成。発表する生徒、それを聴く生徒、どちらも真剣なまなざしが印象的でした。

社会を知って未来を考えよう。キャリア・スタディ発表会

中3のキャリア・スタディは、1年間にわたって社会生活を学び将来を考えるプログラムです。3月5日(土)の発表会では、全50班の中から選ばれた7班が壇上でプレゼンテーションを行いました。

社会生活を学び、自分の将来を考えるきっかけを作る学習プログラムがキャリア・スタディです。年間11のプログラムに取り組んだキャリア・スタディもこの日が総仕上げ。アルマタホールに、お世話になったOBの皆さん、保護者、そして次年度取り組む中2生全員が集まり、中3生の報告、発表に聞き入りました。



最優秀賞の44班は、聴衆を惹き付ける笑いインパクトのあるプレゼンテーションを展開。チームワークの良さも光っていました。



発表班に聞いた「ここを伝えたい!」

44班 班長:山口 耀平
訪問企業:(株)NIPPO

未来の自分に向けて

研修に行った会社の方が話してくれた社会人になる時に必要な心得、「自分の意見をブレることなく他の人に伝えることができれば、社会人として認められる」ということを、中2の皆さんに是非伝えたい。

最優秀賞

4班 班長:池田 陽朝
訪問企業:(株)ハイパーサイクル システムズ

社会と未来

学校を出たら向き合う「社会」と私たちの関係、どうやって自分を活かす職業に就くかを考えたい。

優秀賞

21班 班長:鈴木 雅也
訪問企業:大成建設(株)

企業研修から学んだこと

企業研修を通して仕事の厳しさを知った。将来の目標があれば学校生活も前向きに過ごす事ができる。

優秀賞

23班 班長:矢澤 諒
訪問企業:凸版印刷(株)

文字から学ぶ社会

文字を見と人の意思や文字自体の力を知る事ができる。文字から社会の現状と未来を見つめた。

優秀賞

25班 班長:鈴木 友敬
訪問企業:セコム(株)SCセンター

安心・安全とは

セキュリティ以外の社会貢献、将来を考える上でも人とのつながりを大切にしたいという事。

優秀賞

33班 班長:寺山 智春
訪問企業:(株)日東電機エンジニアリング

大人として社会に生きるにあたって

どんな事でも、プロセスより結果が大事だ。いつも努力をしていれば、自然に結果が出るはずだ。

優秀賞

48班 班長:鈴木 浩斗
訪問企業:関東電設(株)

学校生活が社会につながる

キャリア・スタディに取り組む事で何を得られるのか、できるだけ多くの後輩たちに知ってほしい。

優秀賞

キャリア・スタディの年間プログラム

キャリア・スタディの3本の柱は、①自己理解(自分自身)、②職業理解(社会・環境)、③コミュニケーション(他者との関係)です。社会人である卒業生の講演を聞いたり、企業研修に参加することで、社会を学ぶだけでなく、自分自身を知ることができます。年間を通じてのキャリア・スタディによって、高2以降のコース選択や大学の学部学科選択に繋がっていきます。

5月

- スタート講演
キャリア・スタディの3本の柱を理解しました。
- ゴールシート①
目標を記入することで自分の考えが具体化しました。
- TCU版夢先生
先輩方の講演でコミュニケーション能力の大切さを学びました。

6月

- 仕事探し準備度検査「わくわく」
さまざまな角度からキャリアを意識できる自己分析ツール。

7月

- ポートフォリオ
専用のファイルを作り、管理します。
- 社会人模擬授業
具体的な仕事内容について、先輩方にお話をうかがいました。
- マナー講座
- 身の回りの社会人インタビュー
保護者の方や身近な大人に職業観についてインタビュー。
- あしたをつかめ
NHK教育テレビの番組による職業ガイダンス。

8月

- 企業研修
同窓会の方々の協力のもと、先輩方の職場で職業体験をしました。

3月

- キャリア・スタディ発表会
いよいよ1年間の総仕上げ。壇上の大きなスクリーンを使ってプレゼンテーション。
- まとめ・ゴールシート②
5月から蓄えてきたポートフォリオの資料から、自らの将来を考える筋道を探ります。

たいへん素晴らしい発表でした。自分自身の生き方を折に触れて考えることは、それをしていないより充実した人生を送ることができると思います。(株)アストロノーツ 小泉達雄 先輩

OBの皆さまからのメッセージ

訪問先の業務内容に目を向けるだけでなく、働いている人たちの苦労や、人との出会いに感謝するという大人でも気づかないような感想に驚きました。京王建設(株) 徳山長生 先輩

自分の意見を持つ事。その意見を発表する事。これらの事の大切さを理解している様子が感動しました。これからの諸君の成長が楽しみです。(株)日東電機エンジニアリング 阿部俊夫 先輩

突破! [アイスホッケー部] 3年連続関東大会出場!!



次の目標は全国大会出場だ!

高校アイスホッケー部が、12月10日(金)~12日(日)、日光霧降高原アイスアリーナ(栃木県)で行われた「第19回関東高等学校スケート競技選手権大会 アイスホッケー競技」に3年連続で出場、初戦に勝利しました。キャプテン・三木君のコメントです「関東大会に3年連続出場できたことは嬉しい限りです。特に3年生は受験勉強との両立を果たしながら、部のモチー「やる気」「根気」「負けん気」三気一体の精神で結束し、目標を果たすことができました。」

獲得! [生物研究部] 生物研究の集いでフィールド賞を受賞!

2月20日(日)、学習院大学に首都圏の生物部員が約250名集まって開催された第43回生物研究の集い(主催:東京生物クラブ連盟)で、日頃の研究成果を発表しました。生物研究部の高1竹重龍一君、高山健君、中2吉田柁平君が「ナガラゴガエルの生態と発生」という題目で発表し、「フィールド賞」を受賞しました。



仲間が嬉しい、仲間の成長が嬉しい、仲間の活躍が嬉しい!

躍進! [中学サッカー部] 首都圏私立中学校サッカー大会(関東大会) ベスト8進出!

[高校卓球部] 第八支部 新人卓球大会 団体優勝! 新人大会ベスト32進出!

[中学バスケットボール部] 東京私立中学校バスケットボール大会 男子新人戦ベスト8進出!

TcUTOPICS

挑戦! 中3がセンター試験・模擬体験を行いました。

1月18日(火)放課後、大学入試センター試験・模擬体験が英数国3科目で行われました。本試験さながらの雰囲気の中、生徒たちは3年後を思い描きつつ真剣に取り組んでいました。



集中! 中2国語で百人一首大会開催!

1月20日~27日、中2国語の授業で百人一首大会が開催されました。生徒たちは冬休みの宿題で暗記した成果を発揮し、熱いバトルを繰り広げました。なお、カルタを取った枚数の最高は60枚でした。

体感! 中1で数学実験を行いました。

2月15日~18日、中1代数の「数学実験」は、「身のまわりから関数を探してみよう」というテーマで行われました。「xを決めるとyが1つだけ決まることを「yはxの関数である」ということに着目して、●QRコードを決めるとサイトは1つに決まる。●xさんが生まれたのはy月である。など様々な意見が大いに盛り上がりました。



協調! 高1生、クエストカップの全国大会に出場。

2月26日(土)、実在の企業から出されたミッションにプレゼンテーションの技を競う「クエストカップ2011」。本校では情報科の授業で取り組み、今年は、1099チーム中51チームという難関を乗り越え、2チームが全国大会に胸を進めました。惜しくも決勝進出は逃しましたが、どちらもまさに全国レベルのプレゼンでした。

